

報道提供資料

平成22年3月1日(月)
午後2時発表

同時提供先

福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、
兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、鳥取県、
京都市、大阪市、堺市、神戸市
の各府県市政記者クラブ、大阪経済記者クラブ、
関西プレスクラブ、および文部科学記者会

問合せ先

関西広域機構
文化・観光事業本部 文化振興部
担当：尾崎、小野
電話：06-4803-5577
FAX：06-4803-5574

シンポジウム： 関西芸術会議 VOL.3

「社会とアートのあり方」

座談会： 鷲田清一（哲学者・大阪大学総長）・やなぎみわ（美術作家）

関西広域機構では、関西が魅力的な文化圏となり、ひいては関西の活性化につながることを目指し、様々な事業を展開しています。関西を拠点に世界で活躍する方々にお話いただく「関西芸術会議」。第3回となる今回は、哲学の思考を社会で問題発生している現場につなげる「臨床哲学」のプロジェクトに取り組んでいる哲学者・大阪大学総長の鷲田清一氏と、関西出身で国内外において表現活動を行うやなぎみわ氏を招き、既存の枠組みを超えて私たちに疑問や驚きを与え、新たな世界観への視界を開けさせる社会の中でのアートの可能性についてお話いただきます。

【日時】 2010年3月24日(水) 18時30分～20時00分 開場18時00分

【場所】 大阪市中央公会堂 3F 小集会室

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-27

大阪市営地下鉄 御堂筋線「淀屋橋」駅1番出口徒歩約5分

京阪電鉄「なにわ橋」駅徒歩約1分、「淀屋橋」駅徒歩約5分

【プログラム】 座談会

鷲田清一氏(哲学者・大阪大学総長) やなぎみわ氏(美術作家)

コーディネーター：木ノ下智恵子氏(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任教員)

【参加】 入場無料 定員150名(申込先着順)

【主催】 関西広域機構 関西元気文化圏推進協議会

【後援】(予定) 朝日新聞社 産経新聞大阪本社 日本経済新聞社

毎日新聞大阪本社 読売新聞大阪本社

【協力】 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 関西プレスクラブ

【お申し込み方法】

参加希望者全員の氏名、郵便番号、住所、所属団体名を記入し、「シンポジウム関西芸術会議参加希望」と明記のうえハガキ、FAX、またはEメールでお申込みください。

(応募1件につき4名までとさせていただきます)

応募者の個人情報当シンポジウムの運営のみに使用し、主催者で責任をもって管理します。

定員 150名(応募者多数の場合は、申込先着順とさせていただきます)

申込締切 2010年3月18日(木)必着

参加の受付が完了しますと、主催者から参加票を発送させていただきます。当日、会場受付でお渡し下さい。(定員を超え参加受付できない場合、参加票の送付、ご連絡はいたしませんのでご了承ください)



【お申し込み、お問い合わせ】

関西広域機構 文化振興部(関西元気文化圏推進協議会事務局)

〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51-11F TEL 06-4803-5577 FAX 06-4803-5574

E-mail art@kansai.gr.jp HP: <http://www.kansai.gr.jp/ku/>

鷺田清一氏プロフィール

京都生まれ。哲学者・大阪大学総長。

哲学の視点から、身体、他者、規範、所有、モード、国家などを論じるとともに、さまざまな批評活動をおこなってきた。近年は哲学の思考を社会で問題発生している現場につなげる「臨床哲学」のプロジェクトに取り組んでいる。関西大学文学部教授、大阪大学大学院文学研究科教授、同研究科長、理事・副学長を経て、現職。日本倫理学会会長。主著に、「聴く」ことの力(桑原武夫学芸賞)、『モードの迷宮』(サントリー学芸賞)、『思考のエシックス』、『顔の現象学』など。

やなぎみわ氏プロフィール

神戸生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。

1993年に京都で初個展。以後、1996年より海外の展覧会にも参加。

若い女性が自らの半世紀後の姿を演じる写真作品、「マイグランドマザーズ」シリーズ、実際の年配の女性が祖母の思い出を語るビデオ作品「グランドドーターズ」などを制作。

2004年 グッゲンハイム美術館(ベルリン)で個展。

2005年 少女と老女の物語をテーマにした写真と映像のシリーズ「フェアリーテール」を、原美術館と大原美術館にて発表。

2007年 ニューヨークのチェルシーミュージアムにて個展。

2008年 テキサスのヒューストンミュージアムにて個展。

2009年 ヴェネチアビエンナーレ 日本館代表作家

2005～2006年度 朝日新聞紙面審議委員

コーディネーター：木ノ下智恵子氏プロフィール

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任教員。

1996年～2005年神戸アートビレッジセンター美術プロデューサー。(2006年より非常勤)

2006年より現職。他に芸術系大学非常勤講師、雑誌等への執筆など。専門はアートプロデューサー、事業企画制作等。主な事業・活動に「島袋道浩展」、「新開地アートストリート2002-2005」、「中之島コミュニケーションカフェ」(アートエリア B1)、「湊町アンダーグラウンドプロジェクト」、「NAMURA ART MEETING '04-'34」、「水都大阪2009「ヤノベケンジプロジェクト」」などがある。



関西広域機構について <http://www.kansai.gr.jp/ku/>

関西2府8県4政令指定市(福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、鳥取県、京都市、大阪市、神戸市、堺市)と経済団体による連携組織。関西圏域の多様な個性を尊重しつつ、関西全体の総合力を発揮し、広域連携の強化と分権改革の推進を図り、活力と魅力あふれる地域として関西が自立的に発展することを目的に2007年7月に設立。(鳥取県は2008年7月に加入)

主な取り組みのひとつに関西の文化振興、地域の魅力づくりをあげ、関西圏域内の美術館・博物館の入場料無料事業「関西文化の日」などを主催。

